



## 『檜物と宿でくらす人々』 木曾・檜川村誌三 近世編

口 絵

刊行のことば

例 言

序章 「木曾路」と「山の中」……………一

第一章 木曾の郡編入と奈良井・贄川……………二

第二節 統一政権と木曾……………三

一 木曾の材木と木曾川……………三

秀吉の木曾直轄／石川光吉の木曾統治／家康の木曾掌握／木曾代官山村氏／山村氏の  
木曾支配／尾張徳川氏の木曾支配

二 関所と番所……………三

添番所／白木改番所

三	中山道木曾路の宿……………	三〇
	慶長の伝馬触／宿と村／宿役と白木稼ぎ／寄人馬と助郷	
	第二節 「木曾」時代の奈良井・贄川……………	三九
一	納米と年貢木……………	三九
	正保の国絵図にみる木曾／木曾の納米／年貢木／木曾における奈良井・贄川	
二	木曾への米移入と奈良井・贄川……………	四六
	大久保長安の米政策／権兵衛街道の開墾	
三	旦那様と親方様……………	五〇
	下代官／下代官の性格と役割／肝煎	
	第三節 尾張藩の享保改革と木曾……………	六〇
一	奈良井・贄川の御百姓……………	六〇
	雑畑の拡大と農民法／木曾谷の白木稼ぎの衰退／奈良井・贄川が白木稼ぎの中心に／家の確立	
二	宿と村の整備・確立……………	七一
	奈良井・贄川の宿役／御救いと四宿／肝煎から庄屋へ／村と枝郷	

三	尾張藩の享保改革	七九
---	----------	----

木曾の郡並みあつかい／將軍と尾張家／明山をめぐる藩と山村氏／明山管理の徹底／  
 検地実施と年貢木廃止／基本台帳とされた享保九年の検地帳／享保九年の検地帳／屋  
 敷地所持者／奈良井村の年貢割付け／年貢割付けの変化／水害による年貢控除／「保  
 難」の第一弾／尾張藩と幕府の和解／木曾の他国並み化と奈良井・贄川

二	第二章 庶民生活の発展と社会の変化	二五
---	-------------------	----

一	第一節 奈良井宿と平沢村の成り立ち	二七
---	-------------------	----

一	宿場町の成り立ち	二七
---	----------	----

江戸時代以前の奈良井宿／江戸時代はじめの奈良井宿／江戸時代初期の奈良井宿場住  
 民／貞享三年奈良井宿明細図／貞享三年の奈良井宿場住民／「かど」の自立／「かど」  
 の職業／奈良井村の一戸あたり平均人数／享保期の奈良井宿場／十九世紀の奈良井宿  
 場／屋敷の売買／古券の作成／近隣者の承認／奈良井宿住民の職業構成

二	平沢村の成り立ち	一五〇
---	----------	-----

在郷村平沢／「平澤惣系図」／平沢村の草分け百姓／同族団のひろがり／家並みの拡  
 張／養子・入婿／絶家の家々

三	奈良井千軒	一六一
---	-------	-----

天保八年奈良井村口上書／奈良井宿・村の家数と人口

第二節 贛川宿・村	二七
一 贛川の家数と人口	二七
贛川の北端桜沢／贛川宿場／贛川宿・村の人口	
二 贛川宿・村の商人	二七
贛川宿・村人の稼ぎ／天保十五年の贛川商人／贛川宿・村で販売された特産物	
第三節 奈良井の木工業	一八
一 曲物から漆器・塗櫛へ	一八
奈良井曲物／奈良井曲物の生産条件／檜物細工の種類／奈良井曲物の主製品／白木細工から塗物へ／漆器製品／漆器技法／奈良井漆器の特徴／漆器の値段／奈良井の塗櫛のはじまり／木曾の櫛／全国的な櫛の流行／奈良井塗櫛の特徴／塗櫛の値段	
二 「木曾物」の成立と普及	三三
「奈良井物」から「木曾物」へ／「木曾物」という名称のひろがり／平沢村の下駄生産／下駄の流行／檜物細工の販路／北信・越後への販売／販路のひろがり―相模市荷物・市岡荷物―／技荷の横行／木地の払底／檜物手形の高騰／木曾物の売上高	
三 平沢漆器の台頭	二四
大坂出し荷物一件／奈良井漆器と平沢漆器の競合／「木曾商人」の定小屋願い／「平沢塗物」の登場／明和五年の平沢村塗師屋仲間の系譜／平沢村の漆器生産／漆器の出荷／花屋の経営／漆の仕入方法／花屋の出荷製品／花屋の経営内容／塗師屋と木地職人	

四 信州中馬と尾州岡船……………二六六

信州中馬による漆器・塗櫛の出荷／尾州岡船による漆器・塗櫛の出荷／明和の中馬裁許／明和裁許の影響／安永二年の幕府中馬吟味／中馬に反対する木曾九か宿／中馬政策に賛成する奈良井宿

五 木工業をささえる人々……………二六一

奈良井宿住民の諸稼ぎ／諸稼ぎの収入／職人の手間賃／諸稼ぎの人々の家計／裏屋住まいの者たち／働く女性たち／見習職人たち／商家の奉公人たち

第四節 米商いと大名貸……………二九五

一 奈良井・贄川の米商人……………二九五

奈良井米市／贄川宿の中継米問屋／領主米の集散と奈良井・贄川の米問屋／贄川家の年貢米購入と米販売／年貢米市場としての木曾／山方御用米の減少／近世後期の木曾の米需要／木曾の酒造米と飯米／食糧としての雑穀や粟

二 高遠米と松本米……………三八

上伊那からの米の流入／上伊那米・内郷米・洗馬米／上伊那米・内郷米・洗馬米の値段／高遠藩蔵米の輸送方法／徳利屋の高遠藩蔵米購入／高遠米購入による徳利屋の利益／木曾谷北部の高遠藩御用達商人／文政四年の木曾の高遠藩御用達商人／松本平幕領からの米の流入／松本藩の在摺米と手摺米／太田屋の松本藩収米の購入

三 徳利屋の諸営業……………三二

御用達商人徳利屋／徳利屋の米商い／徳利屋の金融業／領主への貸し付け／遠隔地商

人への貸し付け／周辺地域への貸し付け／地元への貸し付け／徳利屋の檜物細工の販売／漆問屋としての徳利屋／家主・地主としての徳利屋／天明大飢饉と徳利屋／経営資金の貸し付け／屋敷地の集積／庇護者としての一面

第五節 旅と楽しみ……………三六四

一 木曾を旅する……………三七四

木曾と木曾路／なぜ「木曾路」か／木曾のイメージ―川柳と浮世絵／木曾の負のイメージ／木曾路の風景／街道をとった人々／旅人をむかえる―宿屋のいろいろ／飯盛女と旅籠屋／旅人をむかえる―繁盛する茶屋

二 女性の旅……………三八八

女手形のシステム／旅の管理の背景／木曾の女性の関所通行／旅にでる木曾の女性たち―手形控えから／旅にでる木曾の女性たち―石碑から／贄川錦里の旅／関所をさけて／宿・村の願い

三 増える石碑と祭礼……………四一

増える街道ぞいの石碑／神々の勧請と増える祭り／狂言・操り・勧進相撲／若者組の活躍／あいつく禁令と余興の復活

四 俳諧の流行……………四三〇

贄川宿への俳諧のひろがり／贄川一族と俳諧／本陣千村一族と俳諧／俳諧熱のひろがり／蹴鞠・楊弓・狂歌

第六節 木曾の流通構造の変化……………四三三

一	明和木曾騒動……………	四二
	「米騒動日記」／福島をめざす騒動勢／騒動勢と山村家中のいでたち／「米買置」の者たち／尾張藩による調査／騒動の処罰者たち／街道をゆきかう密書／若者組の役割／若者組の武力／山村氏と住民のむすびつきの変化／巢山頼永の歴史意識	
二	米流入機構の動揺……………	四六四
	高遠藩蔵米の値上がり／高遠米の売ゆき不振／高遠米の流通不安と明和木曾騒動／山村良由の木曾周辺預り所構想／山村良由の天明凶作対策／大久保長安の預り所構想／木曾の米穀流通構造の動揺／天明八年幕府申付書	
三	檜物手形の配分……………	四七九
	奈良井村の檜物手形／檜物手形の授受／檜物手形一件／檜物手形一件の要因／村役人の交替／宝暦六年檜物手形新法	
四	細工木流通の構造変化……………	四九二
	細工木の流通構造／奈良井村の林産資源／松原屋太兵衛の細工木販売／奈良井村による剗木山仕出請負のうごき／奈良井商人の細工木流通への進出／雑木挽板類の問屋増設願	
第三章	天保期の社会と住民の政治改革要求……………	五〇七
第一節	深刻化する米問題……………	五〇九
一	かわる米流通……………	五〇九



天龍川通船／木曾の通船反対運動／天龍川通船交渉／通船交渉の決着／木曾谷村々の木曾入米案／為替米の盛行／大坂商人の松本米買い占めの噂／松本平の酒造業の発展	五七
二 動揺する奈良井の米流通	五七

奈良井米市の衰退／松本平からみた奈良井米市の位置／徳利屋の経営不振／旧来の米商人の経営不振／新興米商人の台頭／賛川宿の新興米問屋太田屋三左衛門／太田屋の経営／太田屋の高遠藩蔵米購入／太田屋の松本藩蔵米購入／太田屋と奈良井宿米商人	五〇
三 文化十三年の奈良井騒動	五〇

奈良井騒動の発生／米屋への打ちこわし／太田屋三左衛門への打ちこわし／奈良井騒動の取り調べと処罰／騒動勢の特徴／騒動勢の職業と居住地／町惣代の役割／若者たちの活躍／襲われた者たち／奈良井騒動の原因／米穀流通の変化と奈良井騒動／騒動の論理

第二節 かわる宿場町と村	五九
--------------	----

一 奈良井村の社会変動	五九
-------------	----

文化十三年の奈良井上町騒動／村役人による不正な宿金運用／文政二年の決着／伏見屋竹之丞の台頭／岸部屋平左衛門の台頭／奈良井村の十人役／文政五年 奈良井宿誓詞／奈良井村の町対立／平沢村の「奈良井宿並み」要求／小坂町とは／小坂町一件の発生／下町の活況／騒動の主体となる下町

二 賛川村の社会再編	五九
------------	----

文化年間の賛川村小前騒動／文化十三年の決着／つづく小前騒動／文政五年 賛川村

「宿法」／寄合の規制／立合役の役割の変化／宿役人の入札制／住民の格付の再編／  
「宿法」制度の意味／「十七金」制度の成立／賛川村の金札／拝借金要求運動／惣代寄  
合の実態／さまざまな寄合

三 変遷する宿・村役人……………三〇

宿・村役人の仕事／奈良井の宿・村役人の変遷／賛川の宿・村役人の変遷

四 宿場における暮らしの断面……………三九

火消しと火事／付け火／鉄砲水／用水と酒造／宿場の目明し／犯罪への対処／格式と  
衣服／食生活／動物とのかかわり／さまざまなきごと

五 かわる暮らし……………四七

贈答品の変化／家計簿からみえる生活／儉約の奨励と暮らし／寺子屋の普及／百瀬九  
郎次の勉学／寺子屋の行事と謝礼／本陣千村一族の就学／御嶽信仰のひろがり／奈良  
井村・賛川村の御嶽講／木曾路をとる御嶽講の人々

第三節 負担にあえぐ助郷村と宿……………六七

一 木曾路交通の増加……………六七

木曾路の大名通行／大通行の増加／継ぎ立て人馬の規模

二 助郷制度の変質……………六八

源白様通棺への助郷新設／助郷人馬の代金納／助郷村の拡大要求と反対運動／助郷村  
半高と代助郷要求／代助郷免除願

三	宿役負担の増加と宿財政……………	六八八
	宿役賃錢／赤字の宿財政／宿御救い／人馬賃錢の値上げ／宿財政と不正問題／誓詞差 出し……………	
四	幕末期の人馬継ぎ立て制度の再編……………	七〇一
	人馬継ぎ立ての再編／宿の加助郷要求／人馬役の変質……………	
第四節	揺らぐ山村氏の支配……………	七〇七
一	天保の飢饉……………	七〇七
	飢饉の惨状／天保四、五年の飢饉／天保七、八年の飢饉／木曾谷全体の天保飢饉／奈 良井村の惨状／離村する者たち／村内での困窮者への施し／領主による御救い／贄川 村の天保飢饉対策／贄川宿町惣代の飢饉対策……………	
二	ふぎだす山村氏批判……………	七二六
	成瀬正住への直訴／上四か宿の結束／直訴一六か条／江戸への直訴／三二か条の直訴 ／山村家の失政への批判／山村良祺の説得／直訴のその後／山村家の米購入の失敗／ 天保四年の入米交渉／天明八年木曾入米令の無効力／山村家批判と尾張藩直轄要求……………	
第五節	山村家「天保の難」……………	七五〇
一	天保期における山村家の諸政策……………	七五〇
	「天保の難」とは／木曾住民の処分／山村家の新田開発／新田開発推進派の失脚／木……………	

曾山の背伐／背伐「事業」の展開／西野村太左衛門一件／荻曾村繰穴一件／背伐横行の背景／背伐の摘発

二 天保期における山村家の財政危機……………七三

山村家の財政／貸付金政策のゆきづまり／木曾の宿・村からの資金調達／公金の流用／山村家家臣の困窮と賄賂の横行

三 山村家の家政改革と家臣間の抗争……………七四

大脇正蔵らの家政改革案／原九郎左衛門の財政再建案／谷中御用取扱役 大脇正蔵／大脇派家臣と反大脇派家臣／山村家家臣間抗争の展開／その後の家臣間抗争／亀子九郎右衛門密書一件／新田開発派の復権／「大脇正蔵の改易」／大脇正蔵と山村瀛翁・蓬栖院／山村家の継嗣問題／蓬栖院の大脇正蔵復権工作／尾張藩による調査／「天保の難」の結果／尾張藩の処分方針

四 「天保の難」の時代の木曾社会……………八二

奢侈放蕩の弊風／奢侈放蕩の実態／八沢町孫吉の贖金遣い一件／山村家役人の悪評判／山村家役人の人材不足／横行する隠密／岡田善九郎の隠密調査／岡田善九郎の木曾入り／隠密を騙る者たち／隠密の役割／頻発する直訴／上四か宿の直接行動

五 為替米実現にむけて……………八四七

為替米による米購入／奈良井村の松本為替米計画／為替米事業の実態／弘化三年の松本為替米仕法書／弘化二年の甲州為替米／野口庄三郎の尾州為替米

第一節 激変する経済……………八五九

一 木曾商人の新展開……………八五九

大坂株仲間商人との提携／御用達役所の後押し／贊川の遠隔地商人 加納屋／加納屋の西国商売／加納屋の販売先／加納屋と株仲間／櫛と漆器の売上高の推移／加納屋のおもな仕入先／奈良井宿と平沢村の漆器／八沢町の漆器／藪原宿のお六櫛／奈良井宿の塗櫛／蘭村と広瀬村の木櫛と木箸／加納屋の上方商品の仕入と販売／黒川孫兵衛の北国商売／北国商売の実態／坂本屋長右衛門の東国商売／坂本屋の会津商売／坂本屋の東海・北陸との商売

二 木曾櫛の不振……………八九二

贊川商人の経営不振／天保改革と西国商売の不振／木曾櫛の値上がりと売れゆき不振／江戸櫛との競合／塗櫛の高級品化と売れゆき不振／塗師屋から櫛屋への転業／奈良井塗櫛の製造費／漆器の製造費／木曾木工産地の消長／奈良井塗櫛の衰退／明治初年の奈良井塗櫛と平沢漆器

第二節 混迷深まる宿場町……………九六

一 幕末期の土地利用……………九六

奈良井村の耕地拡大と年貢／贊川村の耕地開発と年貢／奈良井村と贊川村の反米のちがい／万延元年の奈良井村の土地台帳／奈良井村住民の屋敷地の所持状況／屋敷地所持者の特徴／耕地の所持状況

二 幕末の奈良井村……………九六

奈良井村の財政窮乏／天保三年の奈良井宿儉約掟書／天保六年の宿方規定／立合役と十人役／小坂町一件の再燃／小坂町一件の決着／文政期以来の「仕来之義」の動揺／竹之丞呪詛事件／呪詛事件の展開／さらなる展開／事件の決着／呪詛の背景

三 贄川村の混迷……………九五四

「詰算帳」改めの中絶／寄合の不成立／「十七金」制度の廃止／宿・村役人の不在／御用達役所の入札制廃止命令／贄川村の入札制存続運動

四 和宮の下向と木曾の宿々……………九六八

深まる宿と助郷村との対立／寿明君通行／宿の壮大な提案／和宮の大行列／大行列は幕府の大宣伝／越後まで拡大する加助郷と当分助郷／赤字の宿財政／参勤交代制度の廃止

第三節 慶応の木曾騒動と民衆意識……………九八三

一 慶応の木曾騒動……………九八三

松本米の途絶／野口庄三郎の米買い占め／豪商野口庄三郎／上四か宿と洗馬宿・本山宿／木曾騒動の第一波／木曾騒動の第二波／射殺された平沢村民／木曾騒動の第三波、第四波／騒動直後の贄川村／山村家と尾張藩の対応／処罰の申し渡し／騒動勢の頭取と町惣代／若者たちの活躍／米証文が語ること／騒動勢の尾張藩領民意識

二 かわる世相と村社会……………一〇三三

「世直し」の意識／社会不安の高まり／物価の高騰／宿・村役人をみる目／「不人情之者」への批判／陶山吉右衛門たちへの制裁／頭惣代深沢茂吉

三 維新変革期の宿場町……………一〇三九

絵筆をふるう人たち／教養としての和歌／賛川勝房（勝己）の歌学修得／和歌に心をひかれる人たち／国学と信濃／賛川における国学者グループの形成／小沢重喬（文太郎）の入門／第一次の入門者／奈良井宿での「お札降り」／第二次の入門者／和歌・国学のひろがりの背景／国学者グループの行動と思想／金詰りに苦しむ宿場／維新时期の奈良井の宿場札／宿場札と保証人／宿場札廃止の意味するもの

四 「山の民」の「夜明け前」……………一〇八四

『山の民』と『夜明け前』／奈良井・賛川の宿・村運営／木曾の山の民／商品生産者へ／木曾の夜明け前

付録 三貨制度／度量衡表／和暦・西暦対照表……………一〇九六

近世史年表……………一〇九九

あとがき

執筆者名簿

檜川村誌編纂委員会委員名簿

檜川村誌編纂委員会事務局名簿

檜川村誌調査協力員名簿

御川村の歴史と御川村の歴史

御川村の歴史と御川村の歴史

御川村の歴史と御川村の歴史

御川村の歴史と御川村の歴史

御川村の歴史と御川村の歴史

御川村の歴史と御川村の歴史

五世中平表

御川村の歴史と御川村の歴史

竹城

御川村の歴史と御川村の歴史

第三節

御川村の歴史と御川村の歴史

四

御川村の歴史と御川村の歴史

御川村の歴史と御川村の歴史

御川村の歴史と御川村の歴史

表紙『中山道分間延絵図 贄川・奈良井』

(東京国立博物館所蔵)